

CONV/RGENCE

コンバージェンス

#1

A LEAGUE OF LEGENDS STORY™



完璧な人生

O'BRYAN • SMITH • BRIGHTBILL



ピルトーヴァーとゾウン

階層図

ピルトーヴァーとゾウン——この2つの都市は、世界の技術発展を担う中心地である。

地上にあるピルトーヴァーは時計のような正確さで動く、豊かで清潔な夢の都市だ。

その地下にある姉妹都市のゾウンは雑然とした無法地帯であり、住民はそれぞれの夢を自由に追っている。豊かな地上都市の陰で生きるゾウン人は、純粋な意志の力と発明の能力をもって何とか日々の暮らしを送っている。地下都市を覆う化学スモッグの薄闇の中、彼らはより良い暮らしを夢に見て、それを実現しようと奮闘しているのだ。

—ジェイスの作業場

ピルトーヴァー
↑↑↑

プロムナード階層

中層階

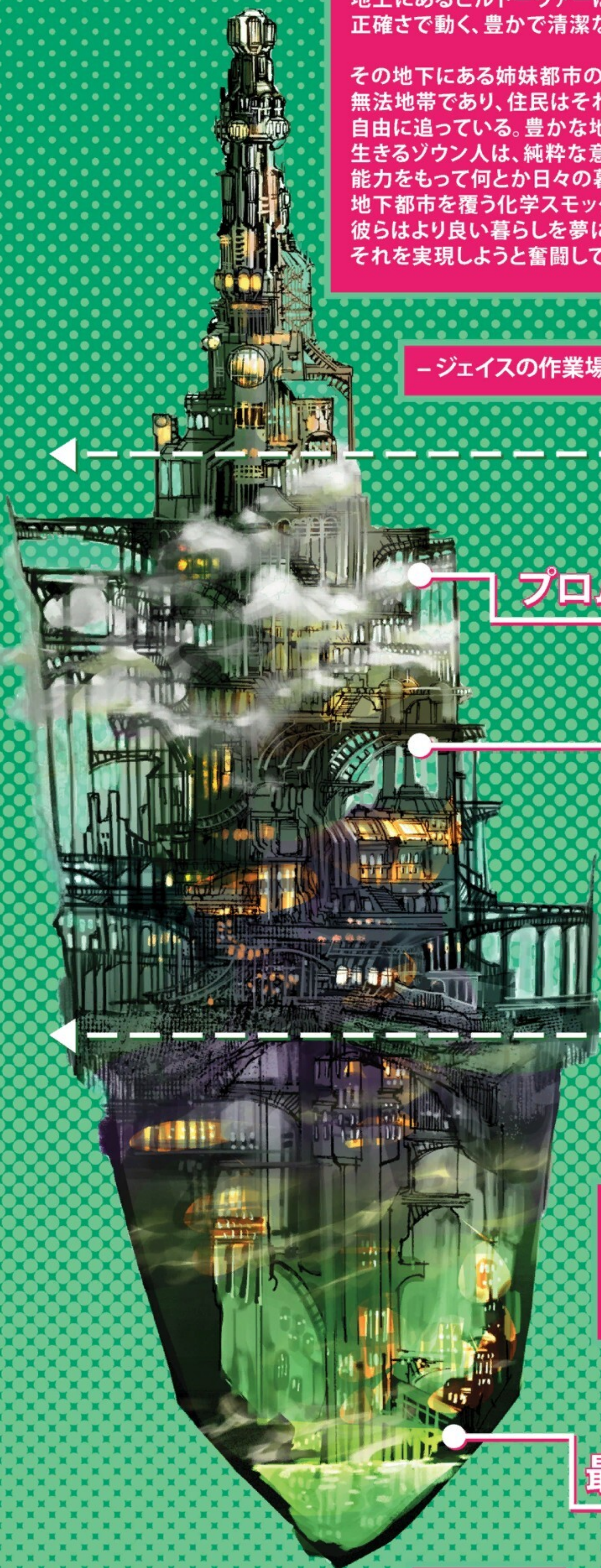
—祝勝祭会場
—ヴァン・クレッグ工業

ゾウン上層
↓↓↓

—エコーのアパート
「ゾウンの迷子たち」
秘密基地
—ビクターの旧研究所

最下層

アート制作:
Eric Canete



エコーはゾウンに住む
ティーンエイジャーの
発明家だ。この都市では
科学技術を使いこなすこと
こそが、明るい将来へと続く
最善の道だとされている。
彼の最高傑作である
「ゼロ・ドライブ」は、
時間を巻き戻すことができる。
つまり、エコーは数秒前の過去を
やり直すことができるのだ。
エコーはこの装置を使って、
人生のあらゆる出来事を
やり直してきた——ちょっとした
ミスから、人生を左右するほど
大きな過ち、その中間のものに
至るまで。

しかし、時間を改変する
ということは、エコーやその家族、
友人たち、そして世界にすら
深刻な影響を及ぼす可能性が
あるのだ…

『コンバージェンス』の前日譚に
あたる本作において、エコーは
タイムトラベルによって得られる
チャンスを諦め、やり直しのきかない
人生を送ることを思い描く。
だが時間に手を出さず、その流れに
身を任せるというのは、想像以上に
難しいことだった…



CONV/RGENCE

コンバージェンス

A LEAGUE OF LEGENDS STORY™

完璧な人生

John O'Bryan

WRITER

Dietrich O. Smith

LAYOUTS

Dietrich O. Smith (1～4話)

Crizam Zamora (5話)

PENCILS

Dietrich O. Smith (1話)

William Wolford (2話、4話)

Crizam Zamora (3話、5話)

INKS

Kyle Brightbill

COLORS

Studio RAM

LETTERING (EU LANGUAGES)

Comicraft's Tyler Smith

LETTERING (NON-EU LANGUAGES)

Corey Lewis

COVER ARTIST

Sabrina Futch

Cate Gary (1話～3話)

EDITORS

Molly Mahan

COMICS NARRATIVE LEAD

Mary Gumport

SPECIAL THANKS



© 2023 Riot Games, Inc. RIOT FORGE, CONV/RGENCE: A LEAGUE OF LEGENDS STORY and any associated logos are trademarks, service marks, and/or registered trademarks of Riot Games, Inc. Developed by Double Stallion.



これは
ピルトーヴァー
——キレイで、
豊かで、安全…

…そんでここ。煙霧から
ずっと下にあるのが
ゾウン。こっちはまあ…
上とは全然違う



ピルトーヴァーは
進歩の都市なんて
呼ばれてる。
ピカピカの
ヘクステック
装置なんか
作っててさ



一方のオレたちは、
その下のゾウンで
クズ鉄を奪い合ってる



ピル公たちはゴミ溜め
なんて呼ぶけど…



…オレと仲間たちに
とっちゃ故郷さ

は、早く!あと
もうちょっとだ!

ひい〜
もう
ダメかも…

気合入れろ、
レム!あれを
逃したら、
計画が全部
パーだぞ!



来たぞ!

ゾウンに法律はない。
ここじゃやりたいことは
何でもできる

BOOSH



みんな急げ!
もう持ち上げて
らんねえ! 跳べ!
さあ!



エレベーターに乗る
力がないなら、
飛び移りゃいい



THUD

カンペキな
着地!



VADADADA

これ、
ヤベエかも...





ワァッ!



んんん...



けど法律がないことの
欠点は、他のヤツらも
好き放題できるってこと

例えばこのマスクを着けてる
ケミギャングの用心棒。こいつは
他人のアバラを折るのが大好きだ



こういうヤツもいるから、
誰にもナメられちゃいけねえ

おい! 気を
つけやがれ!



ゼロ・ドライブを
作ったのも
そのためだ

おい、小僧...
何やってんだ?!

VRRMM

巻き戻し(1回目)

こいつで時間をバラバラの
粒子に分解すりゃサクッと
時を越えられる。
なかなかのモンだろ？

まあ要するに
「やり直しマシン」
ってこと…

数分前の自分に戻って…

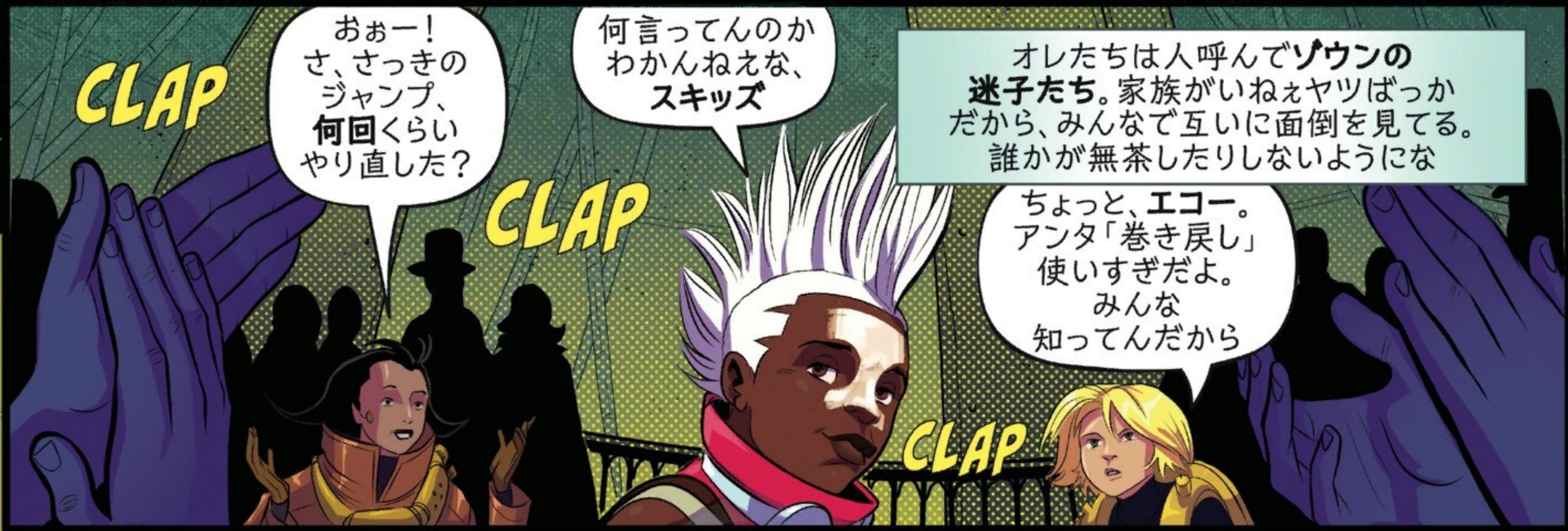
…あらゆる
動作を…

…カンペキに…

…キメる



でもまあ、
ウケたみてえだ



頼りすぎ？待てよ。
オレがゼロ・ドライブを
使うのはいつも仲間の
ためだぜ？

仲間のため？
ねえ、アンタ自分が
してること分かってる？
いつも自分の思い通りに
なるように巻き戻して
ばっかり！

アタシたちは
アンタのタイムトラベル
アドベンチャーの
小道具じゃ
ないんだからね

おい、オレは
そうは思わねえぞ。
お、オレ的にはもっと
巻き戻してもいいと思う。
さっきのジャンプだって
もっとバク宙とか
入れられたんじゃ
ねえの？

いいか、
チャンシー。ここは
ピルトーヴァーじゃねえ。
何だって安心・
安全・確実に
行かねえんだよ。

で、そういうとこが
いいんだ

けどよ、
いつもどっかに
トラブルの種が
転がってる。

だから面倒に
巻き込まれたく
なきゃ、自分たちを
カンペキに
見せねえと

でもまあ、
ゼロ・ドライブを
使うのはホントに
必要な時だけに
する。約束だ。

…まずここで
バク宙をキメて、
それからな

本気で
言ってるの？

わかったよ。
ほぼほぼ
カンペキな
ジャンプ、で
ガマンしとく
って…

中層階に
停止します…



…祝勝祭会場には
こちらで
お降りください…

さて、
まだお説教
続けんの？それより
みんなで祭りを
楽しもうぜ？

よお、中層階のみんな！
オレたちザ・インクスが
この退屈な祭りのために
作った、ジェイスの歌を
聴いてくれ！ワン・ツー・
スリー・フォー！…

ビクター人形
だよ！ジェイスに敗れた
ビクターの人形を
燃やして彼の敗北を
祝おう！

ジェイスの本！
ジェイスの伝記を
どうぞ！

先に
行ってってくれ…
父さんに
あげる本を
探してくる



“我はビクター！
我が機械化革命に
参加しない者には
…死あるのみ！”

“この俺、
「未来への希望」
のジェイスがそうは
させるものか！
ハンマーキャノンを
くらえ！”

“ぐわー！熱いぞ！
我が邪悪なる
科学も
ここまでか！”



ビクターの死体、
最下層の
どっかに転がって
るんだってさ～

へ、へえー、
お、オレが聞いた
話じゃヤツはまだ
生きてて、下水道で
ロボネズミ軍団と
暮らしてるって…

そのような
嘘には耳を
貸さぬことだ、
友よ





兄弟姉妹たちよ、
真実をお伝え
しよう。

光輝なる進化の
吉報を耳にしたことは
ないかね？

そーゆーの
間に合ってる
から



ビクター様の真意を
知らずして、一体何が
間に合っていると
いうのだね？



間に合ってるって
言っただろ

彼の
完全化計画を
拒むのか？

そうね、
少なくともビクターは
ジェイスに**完全に**
ボコられたんだし

そーだそーだ、
機械化改造なんて
イカれたヤツか
金持ちしか
やらねーよ



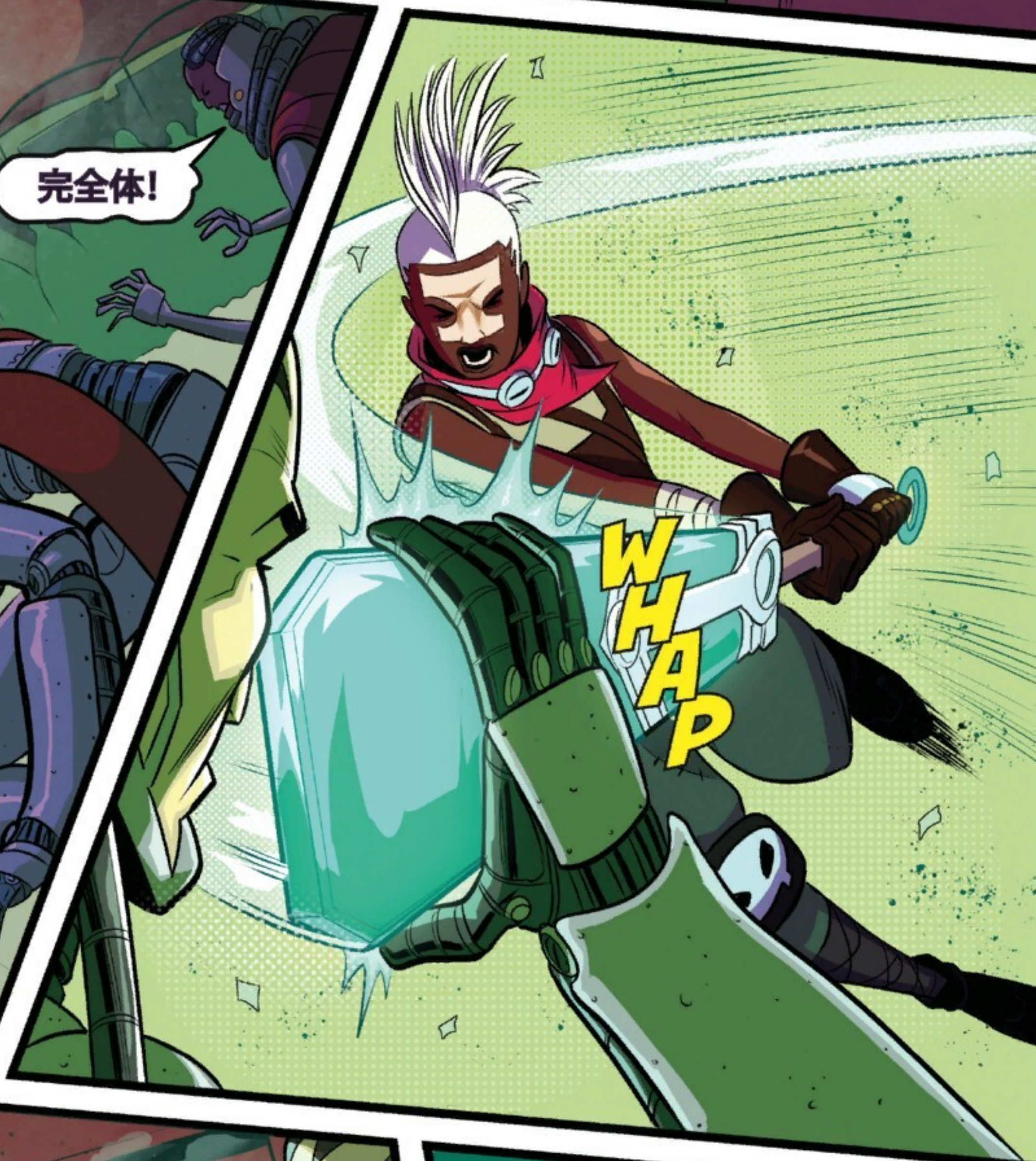
なんと脆く、
愚かしいのだ。
幼き子よ、劣化への
道を辿るべきでは
ないぞ

おい！
そいつに
触んな！



そのダセエ
鉄の手を離しな。
今すぐだ





巻き戻し(1回目)

…プラグを
抜かねえと

「光輝なる進化」は
肉の体などに屈せぬ。
我らこそ完全体!

完全体!

完全体!

よっ!



グウウウ…



エコー!
助けて!

ちっ、あいつ
速えな…



巻き戻し(2回目)

…まずはこいつから
片付けるとするか

「光輝なる進化」は
肉の体などに屈せぬ。
我らこそ完全体!

完全体!

ハイハイ、
分かったよ

Rip

グウウ…

フンツ…!

ハッ!

Pop
Pop



さっきの騒動を
つい見物してしまってたな。
まったく、**無益な争い**
だったな？

他に
どうしろって？
仲間に手
出されたんだぞ

君のことじゃ
ない。ああいう
狂信的な者たちが
テクノロジーの
進歩に泥を
塗る

私は**ジュールス・ヴァン・**
クレッグ。これからすべてを
変えてゆく者だ。

何を
変えるって？

機械による
身体拡張のイメージを、
だよ。もう
洗脳された者だけの
ものじゃない。
私の身体改造は、
すべてのゾウン市民に
今すぐ役立つ
ものなんだ

悪いけど、他を
当たってくれ。
カネなんて
ねえからな

ふむ…

君は
ツイている。代金は
必要ないんだ。

善意の
ご奉仕です
ってか？

いや…
なかなか
鋭いな

率直に言おう。我が社の
製品には**宣伝**が必要なんだ。
一般人が我が社の身体改造を
使っているところを見せて、
何も**恐れる**ことはない
示したい。ゆくゆくは
ピルトーヴァーにも噂が
伝わり…

…で、
お高くとまった
ピル公どもが
カネを
出すって？

ま、
いいんじゃないの

でもオレは
要らねえよ。
思い通りに
生きてるしな。

そう言って
いられなくなる
日が来るかも
しれないぞ

生き方は
心得てるさ…

“...下層の生まれ
だからな”

母さん!
父さん!

エコー!
帰ってたのか。

また補聴器が
壊れちゃった
ようだな

お土産
買ってきたぜ、
父さん

おお、本か。
ありがとうよ。
読むのが
楽しみだ。

それで、
何の本だ?

えっと...
表紙に
書いてある
じゃん。
ジェイスって

待ってくれ...
メガネを
見なかったか?

ここに
あるだろ...
大丈夫?

エコー、あなたに
言わなくちゃ
いけないこと
があるの

おお、
ジェイスか。
あの立派な
男だな?



インナ
…よせ

いいえ、
ワイエス

な…何？



私の目のことだ。
どんどん悪くなって
いる。

実際、
あと3ヶ月もすれば
何も見えなくなると
言われたよ

あの仕事が
原因なんだろう？
化学薬品のせいで…
もう耳だって
悪くしてるのに…
今度は目まで？



これもみんな
ピル公どもが—

すべてを
ピルトーヴァーのせいには
できんさ。
あのケミテック工場の
おかげで
私たちが暮らして
いけるんだ



その工場に
少しずつ
殺されてる。

これ聞いたら
ジェイスは
何て言うだろう。
自分の買った
工場がみんなの
健康を—

ジェイス？
彼を巻き込んだじゃ
いかん



だってヒーローなんだろう？
父さんのことだって助けて
くれるかも。話すことさえ
できれば—

だめだ

それは正しいこと
じゃない。自分の意志と
両の手で乗り越えなければ。
…私たちも、彼のような



今の私たちに
できるのは
それくらいだ…

“…自分たちで
何とかするしか
ないんだよ”

迷子たちの秘密基地

“地下都市で一番イケてる場所”

お前ら
ツイてるぜ。
今日は
イモンを
山ほど
見つけたんだ

やった～！
ゴミが一杯だ！

このボロい
膝当ては
アタシのね！

光学スコープを
作んのに
使えそうなもんが
あったら教えてくれ

おお～！
これは？

おい、レム。
オレが
直してえのは
父さんの目。
足じゃなくて。

あと
3ヶ月もしたら、
どんだけメガネを
厚くしたって
見えなく
なっちゃう…

…けど他に
どうしようも—

“私の身体改造は、すべての
ゾウン市民に今すぐ
役立つものなんだ…”

…フン

行くところ
がある

じゃ…
このブーツ
貰っていい？

ヴァン・クレグ工業

中層階

ここに来て
正解だ、
エコー君…

…うちの
光学改造は
最先端なんだ。
お父さんの
目を治す用意は
いいかね？

あー…
どうだろうな。
ビクターの身体改造とか、
あいつがロボットを
操ってたことはまだ
覚えてるけど…

すべて
過去の話だ

今ここで
作っているものを
見せてあげよう…

これが
あのビクターの
薄気味悪い
改造部品のように
見えるかね？

あー…いや。
そうは
見えねえよ

スタイリッシュ
だろう？これによって
視力は裸眼の
5倍になる。

“**新たな
身体改造を。
すべての
ゾウン市民に。**”
だよ

で、これって
どう使うんだ？
着ける時とか
…痛い？

手術は比較的
すぐに終わるし、
痛みもない。

いいかい、私は
嘘は言わない。
さあ、ついて
きたまえ…



ここが我が社の
リハビリ室だ。
ドナルトをこっちへ…
彼はケミテックの
爆発で腕を
失ったんだ

手術は
どうだったね、
ドナルト？

ちっとも痛く
なかったっす。



腕の調子も
バッチリだ！

こら！
やめんか、
ドナルト！ワシを
持ち上げて
自慢するんじゃ
ない！



さてエコー君、
感想は？

何て言ったら
いいか…

父さんに
話すのが
待ちきれねえ。
だって、
そしたら…



“彼は自分が望む
人生を取り戻せる”
だろう？

それが
この事業の
目的なんだ



ヴァン・
クレッグさん…
ありがとう。マジで
ホッとしたよ

助けになれて
よかった。

お父さんに
よろしく！



では
良いニュースを
報告すると
しよう...



ああ、まだ
いてくれたか。

どうやらあの新しい
改造部品は当たりの
ようだ。**君の頭脳と、
私の社交術。**これは
最高の組み合わせ
だな。

来週までに、
おそらく**ゾウン市民の
半数**が身体拡張を
受けるだろう



半数だと？
話が違うぞ、
ヴァン・
クレッグ。

“新たな
身体改造を。
**すべての
ゾウン市民に。**”
と言った
はずだ

今は我慢だ、
ビクター。

あとは時間の
問題だよ

次号に続く！